

東谷まちづくり計画 (素案)

東谷まちづくり計画とは、東谷小地域 地域別構想及び地域別計画を総称したものを言い、以下の内容とする。

第1章 東谷小地域 地域別構想

1、東谷小地域 地域別構想とは

東谷小地域 地域別構想とは、東谷小地域の特性や多様性を生かした地域のありたい姿を掲げ、その実現に向けた地域づくりの方向を示すものであり、令和6(2024)年度から令和13(2031)年度を構想期間として、川西市の第6次総合計画とも連携、補完しながら、実現をめざすものです。

また、その体系は、地域のありたい姿として、「人が豊かに育つ東谷」「賑わいが生まれる東谷」「安全安心の東谷」「快適な暮らしの東谷」「地域活動の活発な東谷」の五つの視点に整理しています。

2、東谷小地域の地域別構想

(1) 地域の現況

市の北部に位置する東谷小地域は、妙見山を擁する黒川地区、一庫ダムを擁する国崎地区を含む広大な地域です。南北には、国道173号と能勢電鉄が、東西には新名神高速が通っております。また、地域には多くの農地が存在しています。

(2) 地域の魅力と課題

地域のまちづくり活動を進めるためには、地域の魅力を生かしながら課題の解決に取り組んでいくことが重要です。地域のまちづくり活動のもとになる「地域の魅力」と「地域の課題」を次のとおり整理します。

地域の魅力	地域の課題
・ 豊かな自然 ・ 大路次川、初谷川の清流 ・ 日本一の里山 黒川 ・ 一庫ダムの桜、紅葉 ・ 歴史、文化遺産が多い ・ 農地が多く残っている、農産物がある	・ 地域が広く、まとまりにくい ・ 子ども達が遊ぶ公園がない ・ 買い物が不便 ・ 生活道路が狭い ・ 山下駅前が未整備 ・ 医院が少ない ・ 足の便が悪い ・ 自然と農で東谷ブランド

(3) めざす地域像

東谷小地域には、日本一の里山と称される黒川と、日本のダム湖百選にも選ばれている知明湖さらに、大路次川、初谷川の清流など、美しい自然環境が広がっています。また、米やしいたけ、栗などの農産物にも恵まれており、さらに、歴史ある寺や神社のほか、城跡や小学校跡など文化的な遺産が多く残っています。

一方、能勢電鉄による都心へのアクセスもよく、新名神により、広域交通も便利な地域です。今後は、地域の特性を生かして「東谷ブランド」を確立し、内外に地域の良さを発信して、ずっと住みたいまち、行ってみたいまちになるよう、次の内容を「めざす地域像」として、地域住民と協働のまちづくりを進めます。

めざす地域像

キャッチフレーズ

ゆたかな緑、すみよい町並み。

ひとり一人が手をつなぎ、笑顔あふれる ” 東 谷 “

(4) 地域のありたい姿

めざす地域像の実現に向けた地域のありたい姿を、以下の五つの視点に即して掲げます。

(1)人が豊かに育つ東谷

- ・ こどもからお年寄りまですべての人の居場所があり、みんながつながり合うまちにしたい。
- ・ 子育てしやすいまちにしたい。
- ・ すべてのこども達が親や地域にあたたかく育まれるまちにしたい。
- ・ 自然を大切にし、生き物と共生を考えるまちにしたい。

(2)賑わいが生まれる東谷

- ・ 東谷の良さを内外にアピールして「東谷ブランド」を確立したまちにしたい
- ・ 農業への理解を深めたまちにしたい
- ・ 高齢者、障がい者が働ける場を確保したまちにしたい
- ・ 買い物ができる、にぎわいのあるまちにしたい

(3)安全安心の東谷

- ・ 市立病院は移転したが、地域の医療体制が確保されて安心できるまちにしたい
- ・ 防災対策に万全を期したまちにしたい
- ・ 高齢者がひとりになっても安心して暮らせるまちにしたい

(4)快適な暮らしの東谷

- ・ 都市基盤(地域核、道路、公園)の整備ができて安全で快適な暮らしができるまちにしたい
- ・ 交通対策を考えて、だれもが行きたい所に行けるまちにしたい
- ・ 休日に初谷川で、親子が水遊びや生き物の観察ができるまちにしたい

(5)地域活動の活発な東谷

- ・ 広く住民同士の交流が活発なまちにしたい
- ・ 地域の活動やイベントには、多くの人が参加するまちにしたい
- ・ コミュニティや自治会で地域活動の担い手が心配のないまちにしたい
- ・ こども食堂の運営や、その他、地域でできるコミュニティビジネスを起こして、希望する誰もが参加できるまちにしたい

第2章 東谷小地域 地域別計画

1、計画策定の趣旨

地域別計画は、令和6(2024)年度から令和13(2031)年度までの8カ年計画とし、地域別構想で記載された地域のありたい姿の実現を図り、地域全体で今後の取り組みの方向を共有できる羅針盤として策定します。

また、地域別計画に位置付けられた事業の実施に必要な財源は、市から東谷コミュニティ協議会への一括交付金を基本とし、その他自主財源等で賄われます。

2、計画の特徴

(1) 地域住民の参画と協働により作り上げた計画

この計画は、令和5(2023)年 11 月と 12 月に地域住民、地域団体、地域の中高校生及びコミュニティ役員が集まり、「東谷の今とこれからを語り合おう」をテーマにした 2 回のワークショップでの意見や、計画素案に対する令和6(2024)年 2、3 月のパブリックコメント(住民意見公募)など、広く地域住民の参画と協働のもとにつくり上げた計画です。

(2) 地域全体で共有する計画

この計画は、地域に関わるだれもが知りたい姿を共有し、ともにまちづくりを進めるための考え方や方針を、地域住民の視点にたち、簡潔に分かりやすく示した計画です。

3、計画の推進方策

(1) 3カ年ローリング計画の策定

令和6(2024)年度から13(2031)年度までの8カ年計画である地域別計画の進行を管理すると共に、達成状況等を把握するため、毎年度、3カ年ローリング計画を策定する。

(2) 計画の実行

この計画は、東谷小地域を包括する東谷コミュニティ協議会が中心となり、実行運営しますが、会則に基づく、コミュニティ推進協力団体である、川西市消防団東谷地区、献血推進協議会、東谷小学校区人権啓発推進委員会、東谷地区生産組合、川西市明るい選挙推進協議会、東谷地区老人クラブ連合会、東谷小学校学校開放委員会及び兵庫六甲農業協同組合東谷支店とも協調連携を図ります。

(3) 計画の見直し

この計画は、必要な場合、中間年(令和9(2027)年度)頃に見直しを行います。

4、東谷小地域 地域別計画

地域別構想に掲げる、地域のありたい姿の五つの視点に即して、今後、8年間に実施しようとする、主な継続事業及び新規事業を以下に掲げます。

(1) 人が豊かに育つ東谷

○主な継続事業

- ・ 東谷幼稚園対策関連事業
- ・ フードパントリー事業
- ・ こども食堂運営事業
- ・ ふれあい喫茶「カフェのぞみ」運営事業
- ・ 共育クラブ事業
- ・ トライやるウィーク支援事業

○新規事業

- ・ 北消防署、東谷幼稚園周辺は、地理的にも、また、住民の「想い」の上でも、東谷の中心であり、こども、若者から高齢者まで全ての人の居場所(たまり場)となる機能の確保と共に、幼児教育保育施設の認定こども園の誘致に向けた取り組みを進める。
居場所機能等の例示 児童館、図書館、多世代交流館、カフェ、誰でも食堂、すこし娯楽の場
- ・ 一庫公園、大路次川、初谷川、国崎、黒川等、自然に触れあえる場を活用して、子ども達に自然の恵みと生き物との共生を学習する取り組みを進める。
- ・ 学校、地域が連携して、不登校対策を進める。
- ・ 子育てしやすい環境づくりを市と地域が連携分担して進める。

(2) 賑わいが生まれる東谷

○主な継続事業

- ・ 東谷市民秋まつり(再掲)
- ・ 鳥獣害対策の連携

○新規事業

- ・ 東谷の歴史、観光資源を内外にアピールする取り組みを進める。
- ・ 歴史散歩、タウンウォッチング、ダム見学会など東谷をよく知るためのイベント等の実施。
- ・ 農業への理解を深める取り組みを検討する。
取り組みの例示 農業体験会、田んぼ1年耕作体験、貸農園で野菜作り
- ・ 高齢者、障がい者が働ける場の確保の取り組みを進める。(再掲)
- ・ コミュニティビジネスの調査研究。(再掲)
- ・ 山下 城山に遊歩道を整備し、東谷展望台を検討する。
- ・ 市立病院跡の公園に人が集まる施設やイベント等を検討する。

(3) 安全安心の東谷

○主な継続事業

- ・ 避難行動要支援者の体制づくり
- ・ 防犯パトロール
- ・ 東谷こども安全まもり隊活動の推進
- ・ 東谷防災計画の作成

○新規事業

- ・ 小児科、産婦人科等医療体制が不十分であり、これの改善への取り組みを進める。
- ・ 市北部と猪名川町をエリアとする、在宅医療の仕組みと拠点を作るよう必要な取り組みを進める
- ・ 急傾斜地や土石流危険渓流が多く、早急な対策工事を県に要請すると共に、地域での周知と避難訓練を行う。
- ・ 自治会単位で避難場所の周知と訓練を実施する。(再掲)
- ・ 消防車が通れないほど生活道路が狭いため、抜本的な整備について必要な取り組みを進める。(再掲)
- ・ ドクターヘリの情報を収集すると共に、東谷での活用について研究する。

(4) 快適な暮らしの東谷

○主な継続事業

- ・ 黒川まちづくり支援事業
- ・ 東谷の川の研究
- ・ 水生生物観察会の実施

○新規事業

- ・ 山下駅周辺から国道173号沿道の地域核エリアは公共公益施設や商業、文化、娯楽、飲食及び医療などの集積を図る東谷中心エリアとしたまちづくりの推進について必要な取り組みを進める。
- ・ 山下駅に駅前広場を整備し、さらに北側の市道311号までの道路新設について必要な取り組みを進める。
- ・ 生活道路が狭くて危ないため、抜本的整備について取り組みを進める。(再掲)

- ・ 東谷には開発による小規模な提供公園以外、公園や公共空地は、あまり無いため、地区公園、近隣公園、街区公園の計画的整備について必要な取り組みを進める。
- ・ 交通弱者が日常生活を不安なく送れるよう、多様な形の交通対策を進める。
- ・ 初谷川の親水空間や多自然型川づくりの可能性について研究する。

(5) 地域活動の活発な東谷

○主な継続事業

- ・ 東谷市民納涼祭、東谷市民体育祭、東谷市民秋まつり
- ・ 自治会加入促進事業
- ・ コミュニティビジネスの調査研究（再掲）

○新規事業

- ・ 高齢者、障がい者が働ける場の確保の取り組みを進める。(再掲)
- ・ 自治会内外に情報発信を強化して、活動状況を知ってもらう。
- ・ 自治会の退会引き止めのため思い切った対策(役員定年制、会費軽減)等を検討する。
- ・ 自治会加入促進のため、治安維持や災害避難の共助などメリットを説明する。
- ・ 自治会単位で避難場所の周知と訓練の実施する(再掲)
- ・ 市民体育祭の活性化のあり方について引き続き検討する。
- ・ 自治会統合の研究